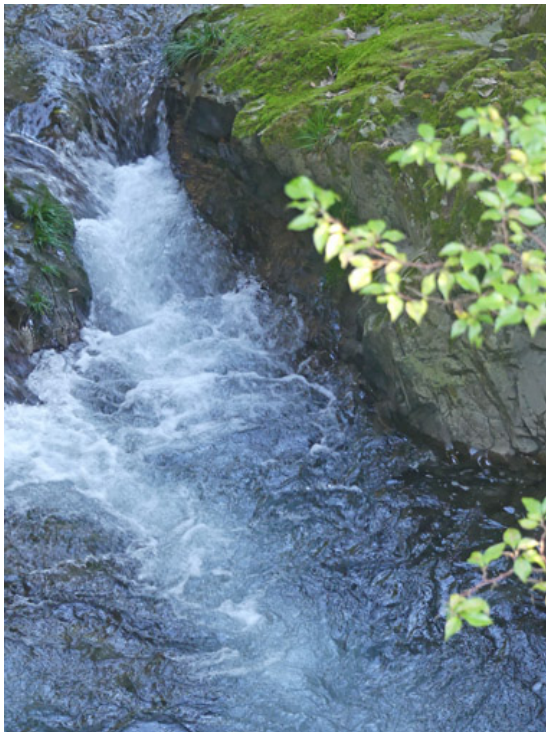


迎古夢旅 4717 : ビワイチ青春日誌・五感が喜ぶ 102

上り坂だが、自然に気をとられていると、苦にならない。
せせらぎに耳を傾け、**花や緑は、自然の中で生き生きしている**ように思える。

体感。五感が喜んでいるのがわかる。

自動車で通過するだけでは、味わえない、久楽には、喜び。



いささか肌寒く感じる。峠の気温は、14度。紅葉も早くなるだろう。

右折して、静原、大原方面に進路をとった。

また、上り坂が、待ち構えていたが、自然の瞬きに、気を取られているうちに、

いつの間にか、静原まで来ていた。

